

# 建通新聞

令和6年3月26日（火曜日）

足立参院議員

## 「住み続けられるよう、対策を」

### 液状化被害で現地調査

足立敏之参院議員は15日、能登半島地震による液状化被害の大きかった石川県かほく市、内灘町の現地調査を行った。写真。建設専門紙の取材に対し、「あらゆる施策を



講じて市街地を再生する必要がある」との考えを示した。

家屋の区画が不明確になるほどの被害も見られたといい、土地区画整理事業を含め幅広い対策の必要性を指摘した。22日

に政府の復旧・復興支援本部が宅地液状化対策と家屋耐震化の一体支援を打ち出したことを踏まえ、「被災した住民が暮らし続けられるよう、活用してほしい」と述べた。

河北潟では堤防が2ヶ

以上沈下した箇所もあり、こうした河川施設について「出水期までに応急復旧を行う必要がある」とした。

金沢港ではふ頭の損傷状況を確認。岸壁や後背地の耐震化をさらに進める必要があるとした。